

第二の候補地としてできないか。もう2分過ぎましたので、答弁はいただけないことになってます。それで検討していただきたいということでもあります。

もう一つ、幅員6メートル以上道路が接している寺泉の建設課の資材置き場も仮設住宅の資材搬入に支障がないということも考えられますので、1カ所目がもし何かあったときに、ほかのところでも、第二、第三の候補地として、その南中と建設課の資材置き場も検討していただきたいということをお願いして、私の質問を終わります。どうもありがとうございました。

## 平 進介議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位4番、議席番号5番、平 進介議員。

(5番平 進介議員登壇)

○**5番 平 進介議員** 今定例会一般質問におきまして、1つ、公共施設トイレの洋式化について、2つ、長井の心推進事業について、3つ、山岳山荘のバイオトイレ設置についての大きく3点について質問をいたします。

それでは、初めに、1点目の公共施設トイレの洋式化について、順次お伺いいたします。

私たちの暮らしは、時代の変遷とともに生活様式も大きくさま変わりをしてきました。子供たちの学校生活も、つい最近までは教室に扇風機を設置することにかかなりの抵抗と議論が交わされたところではありますが、現在は市内の全校にエアコンを設置するという変わりようであります。トイレもその一つで、家庭における生活様式の洋式化による和式トイレから洋式トイレへと移ってきました。私の家でも12年前に母親が脳梗塞で倒れ、トイレを洋式にし、手すりをつけるなどの改修をして回復を待ちましたが、

結局、母親は真新しいトイレを使うことはありませんでした。その洋式トイレは今、残された家族が快適に使用している現状です。トイレは人間として、食べる、排せつするという生理現象の基本的なものであり、食物の摂取とともにいかに気持ちよく排せつするかという点で、非常に大事な部分だと思います。

ここで、トイレに関する調査報告がありますので、ご紹介したいと思います。山形行政相談委員協議会、会長、奥山吉雄氏が平成25年8月に調査結果を報告書として出されたものです。山形県内の35市町村に67人の行政相談委員が総務大臣から委嘱を受け、無償で地域住民の皆さんの行政に対する苦情、意見、要望等の相談に応じておられます。このたびのトイレに関する調査は、そうした行政相談委員の皆さんが日ごろ地域住民からのさまざまな相談を受けている中に、公共施設などのトイレは和式が多く、お年寄りや体の不自由な人が困っているのもっと洋式トイレをふやしてほしいとの要望が寄せられたことがきっかけだそうであります。

調査実施時期は平成25年2月から6月にかけて、調査方法は行政相談委員が住む市町村の公共施設等のトイレ、大便器について、洋式、和式の有無を調査し、また住民アンケート調査を行ったものです。調査は、調査対象物を10に区分しています。1、国等の庁舎等、2、県及び市町村庁舎等、3、県及び市町村の文化・交流・体育等施設、4、市町村の地域集会施設等、公民館など、5、小学校、6、中学校、7、公園、公衆トイレ、8、国公立病院等、9、公共交通機関等の施設、10、民間商業等施設となっています。調査対象施設数は446施設、トイレ箇所数945、トイレ台数4,916という膨大な調査を67人の行政相談委員の方々がみずからされたということで、大変な作業で頭の下がる思いであります。

その結果、全体の洋式化率は41.8%でした。

その中で洋式化率が高いのは、国等の庁舎等が70.2%、国公立病院等が68.0%、民間商業等施設の59.7%の順でした。逆に洋式化率が低いのは、公園、公衆トイレが26.5%で最も低く、県及び市町村の庁舎等が31.7%と続き、中学校33.1%、市町村の地域集会施設等38.9%、小学校41.8%の順となっています。ちなみに公民館や市民文化会館が含まれている県及び市町村の文化・交流・体育等施設は52.0%で、上から5番目となっているようです。

長井市の社会教育施設におけるトイレ環境について、先日いただいた資料によりますと、公民館や文化会館、図書館等で全体の洋式化率は38%になっているようであり、県全体の52.0%と比較すると、大分低いようです。アンケート調査では、外出時に利用するトイレは様式か和式かを質問し、様式を利用するが59.4%、どちらも利用するが27.4%、和式を利用するが13.2%となっています。洋式トイレを利用すると答えた人を世代別に見ると、高い順から、20歳未満69.0%、20歳代66.7%、50歳代64.6%、60歳以上63.8%の順になっており、洋式トイレは若い世代と高齢者の利用が高い状況となっています。

この調査結果を見て、私はそういう傾向にあるんだろうなと感じたところですし、各家庭の新築、リフォームでもトイレは洋式化されていますし、和式トイレを経験したことのない若い世代もあると思います。逆に和式しか経験がなかった50歳代以上の世代においても、足腰の弱さや膝の故障などで洋式トイレの必要性に迫られているという状況がありそうです。ちなみに本年6月末時点での本市の年齢別人口構成を見ますと、人口は2万7,688人で、65歳以上が9,200人。この65歳以上の割合、いわゆる高齢化率は33.2%となっているようです。総務省が発表した昨年9月15日時点での高齢化率は26.7%ですから、長井市は全国平均から7ポイ

ントほど高い状況であります。

こうした状況の中で、市では生活様式の変化と高齢化社会を迎え、洋式トイレの要望が高まっていることに対してどのように対応していくのか、基本的な考え方について市長にお伺いいたします。

このたびの補正では、公共施設のトイレについて、和式の一部を洋式に切りかえていくことで平野地区公民館と西根地区公民館の男女の便器を改修する予算案が上程されております。地区住民ニーズに応えるものとして評価いたしますが、特に市民の方が多く訪れる教育委員会所管の社会教育施設について、計画的な切りかえ改修が行われていくのか、文化生涯学習課長にお聞きをいたします。

トイレもさまざまな種類がありますか、中にはさまざまな病気や障害などが原因で人工肛門や人工膀胱を持たれているオストメートの方々が全国に20万人ほどおられるということでもあります。人口案分で単純に計算しますと、山形県内には約1,800人、長井市には約50人おられるという計算になります。実際に長井市内には現在、41名ほどの方が膀胱、直腸機能障害として身体障害者の手続を行われているということをお聞きしました。こうした方が利用されるオストメートトイレを長井市では何年か前に本庁舎の1階の男女トイレにそれぞれ整備されておりますが、今後の整備方針について総務参事にお聞きをいたします。

また、障害者用トイレの必要性については、さらに多くの方が望んでおられると思いますが、その対策についてもあわせてお聞きをいたします。

次に、この項では3番目の質問となりますが、階層のある施設トイレの洋式化についてお聞きをいたします。

トイレの洋式化については、このたびの補正予算で西根、そして平野地区公民館の男女トイレ

レについて和式便座から洋式便座に一部改修するという提案がされております。先ほど述べましたように、洋式トイレへの流れは加速しており、その要望も高い中でこのたびの補正は大変結構なことだと考えておりますし、今後も引き続き洋式化に向けた改修整備を図っていただきたいと思っております。

そうした中で提案したいのが、階層のある施設の洋式化であります。具体的には、3階建ての市民文化会館であります。1階に車椅子で利用できる障害者用トイレが整備されております。また昨年、1階の男女トイレの一部を洋式トイレに改修されたとお聞きしました。しかし、2階、3階には洋式トイレはありません。市民文化会館は年間を通じてさまざまな芸術文化活動を展開しており、市内外から多くの方々においでいただいております。大きなイベントは1階の大ホールで行われるわけですが、2階の会議室や3階の大会議室等を会場にしたイベントも行われております。

一例を申し上げます、毎年秋に開催される長井芸術祭であります。昨年は第54回を数え、盛大に開催されました。ことしは55回の節目の年となることから、記念事業としてこのたびの補正予算で委託料の増額補正を行っております。

この芸術祭は長井文化協会に加盟する23団体、会員数300名を超える皆さんが行う大イベントであります。大ホールでの公演や1階のホワイエから2階、3階の会議室はもちろんのこと、通路等も活用しての展示など、市民文化会館全館を使用しての芸術祭であります。55回目となる芸術祭でありますから、当初から実行委員として参加されておられる加盟団体の皆さんの中には、大変失礼ではありますが、ご高齢の方もいらっしゃいます。そのためエレベーターの設置について強い要望があると聞いておりますが、芸術祭をごらんにおいでになる方々も含めて、歩くことはできても、しゃがんだり座ったりす

ることがとても大変という方もいらっしゃいます。3階までの上りおりは非常に負担がかかり、とてもつらいと感じます。そうした方々は、2階と3階に手すりのある洋式トイレを設置してもらえないかという切実な願いがあります。男性の小用は立ってできるわけではありますが、女性の場合は、しゃがめない人は洋式トイレでないと用が足せない状況ですから、わざわざ1階までおりにこなければなりません。

本年8月17日開催の市議会全員協議会において、長井市公共施設等整備計画（案）が示されました。その中では、市民文化会館については既存不適格の建築物であり、耐震診断を行い、結果を受けて耐震改修と大規模改修を行うとしております。整備期間は、平成28年度から平成32年度までの整備計画期間の前期5年間の中で予定されております。また、このたびの補正予算で市民文化会館整備方針検討委員会委員報酬が計上され、同会館の大規模改修に向けて会館の機能や規模等について、市民の声をお聞きするための委員会費用ということでもあります。来年度に耐震診断を予定されているということですが、整備されるまでの今々の状況を考慮し、必要最小限の改修で要望に応えるべきではないかと思うのですが、いかがでしょうか。市長のご見解をお伺いいたします。

次に、2点目の長井の心推進事業について、お聞きをいたします。

教育委員会では、教育振興計画の中での教育目標を「いのちを育み『長井の心』を未来につなぐまち」としてしております。また、故長沼孝三先生が言われた「生まれ育った故郷を誇りに思い、感謝する心を育む」教育とともに「長井の心」子供版10の子供像を掲げております。そうした中で、具体的な各小・中学校の活動の一つとして、長井の心推進事業が行われております。小学校においては地域に伝わる伝統行事の継承活動、中学校においてはボランティア活動が主

な事業となっているようであります。

教育長にお伺いいたしますが、このたび教育長に就任されて、この長井の心推進事業をどう位置づけられ、どう捉えておられるのか、現状と今後についてお伺いいたします。

私は、子供たちが大きくなっても長井市に残ってほしいという気持ちであります。現実にはなかなかそうはいきません。それでも長沼先生の新しい長井橋の上に立って周囲の景色を眺め、改めてその美しさ、大らかさ、静けさを見直す、長井に生まれ、長井の心で育ったことに誇りと感謝するという心を持ち続けてほしいものと念願するものであります。

そうした中で、特に西根小学校で実践している縄文太鼓継承活動事業ですが、現在、縄文太鼓が保管されている場所は市民西根体育館に併設されている旧西根小学校音楽室にあります。縄文太鼓は古代の丘の長者屋敷遺跡発掘に端を発し、発掘作業や古代の丘周辺の整備に絶大なご尽力をいただいた故佐藤正四郎先生たちの発案により始まったもので、今では西根地区を代表する文化としてすっかり定着し、毎年開催される縄文まつりのメインとなって市内外の観客を魅了しております。その縄文まつりには西根小学校の高学年の皆さんが縄文太鼓に参加し、遠く古代に思いをはせ、観衆を縄文の世界へといざないます。縄文太鼓の一番大きいものは優に300キロを超えますが、これは当時、西根地区文化振興会が市の助成を受け製作したものとお聞きしております。また、周りの太鼓や楽器は手づくりながらも、そのできばえに驚かされるのは私だけではないと思います。現在は縄文太鼓愛護会が組織され、会員80数名、打ち手7名で構成されております。

この縄文太鼓が旧西根小学校音楽室に保管され、西根小学校の4年生が総合学習の中で縄文太鼓の継承活動のために練習をしております。申し上げましたとおり、太鼓は大きく重いこと

から、部屋にそのまま演奏できる状態にしておかなければならないため、ある程度のスペースが必要となります。現在の場所ではいろいろ支障があることから、子供たちが安全に総合学習として取り組める場所の確保が必要と考えますが、教育の視点からどのように考えておられるのか、学校教育課長にお聞きをいたします。

地元としては、一つは子供たちに引き続き縄文太鼓を西根地区の文化として継承してもらいたいこと。2つには、大人たちが夜間を含め、自由に入出りできる場所で練習ができ、太鼓の搬出、搬入もクレーンつきトラックで容易にできることの2点を考えておられるようであります。私としては、保管するための新たな施設を建設することは非常に厳しいと思えますし、現在の公民館施設や他の施設に縄文太鼓の練習を含めたスペースを確保することは難しいと感じます。また、子供たちが余り移動時間をかけずに学習に入れる環境にすべきであると思えます。その意味では、防音に配慮しながら小学校の一室を改修して対応したほうが一番いいのではないかと考えるのですが、いかがでしょうか。施設管理としての課題なども出てくるわけですが、ぜひ西根の文化を子供たちに引き継いでいってほしいと願いますし、縄文太鼓の打ち手の皆さんも一生懸命時間を割いて子供たちに指導しているとお聞きをしております。ぜひ前向きに、そして早急な対応が必要でありますので、教育委員会一体となって対応をお願いいたします。施設整備の検討内容につきましては、教育総務課長である教育参事にお聞きをいたします。

次に、3点目の山岳山荘のバイオトイレ設置について、お聞きをいたします。

ことしから8月11日は、山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝する日として、国民の祝日、山の日となりました。長井市を含め山形県や東北地方は山岳地帯が多く、周辺には飯豊連峰や朝日連峰など全国的にも山岳愛好家から人気の

ある場所となっております。こうした新たな祝日として誕生した山の日を市長はどのように捉えておられるのか、まずお伺いいたします。また、県は山の日を機に県民や市町村からやまがた百名山を公募し、8月2日に第一次選定50山を発表しました。今回は複数の応募があったり、広く知られていたりするものが中心で、県山岳情報ポータルサイトで情報を発信するなどし、山岳資源を観光資源に生かしていくとしております。この中で長井市が所在地となっているものは祝瓶山、長井市と小国町、そして葉山、置賜葉山、これは長井市、白鷹町、朝日町の2山となっております。このやまがた百名山への取り組みについて、長井市としてどうかかわってきたのか、残り50山の選定について今後どうかかわっていくのかについて、商工観光課長にお聞きをいたします。

また、県ではインバウンド対策として外国語標識の整備などを行いながら、山岳資源を生かした観光振興を図るとしているようですが、長井市における山岳資源を生かした基本的な考え方について、市長にお伺いいたします。

最後に、関係する町との葉山山荘バイオトイレ設置の可能性について、お聞きをいたします。

ことし1月、仮称葉山フォーラム開催の準備会議がはぎ苑で開催されました。これは昨年、葉山山頂にある葉山神社の式年御建てかえ事業などがありましたが、近年の西山の景観が松くい虫やナラ枯れの影響で損なわれていることから、多くの知恵を集めて西山の保全を図り、より安心できる生活が続けられるよう取り組んでいこうという趣旨のものであります。出席者は、西根地区からは勸進代を中心に草岡、寺泉の各区長さん、白兔地区、そして白鷹町の高玉地区の東高玉、西高玉の両区長さんら30名弱の出席でありました。葉山に登るルートとして、県道であります主要地方道長井白鷹線から入山するには、長井市には中里登山道、勸進代登山道、

白兔登山道の3つがあります。また、白鷹町には西高玉と上の台公園からの2ルートを含め5つの登山道があることから、それぞれのルートから登って山頂で落ち合うという構想があり、今月25日に開催されるとお聞きしました。

今月1日号の市報に、葉山、やまがた百名山選定記念登山として募集が載っておりました。集合場所は、勸進代の中部公民館と白鷹町横田尻の上の台公園の2カ所となっております。朝日連峰の南東の端にある葉山を中心とした長井市と白鷹町との交流が今後さらに深まることを期待したいものであります。

さらに市報には掲載されておりませんが、山の日制定記念県民登山大会が今月18日に白兔の葉山森林公園を集合場所に、葉山登山が開催されるということでもあります。主催は、山形県山岳連盟で、長井山岳会や岳人長井の皆さんが主幹となって開催されるということでもあります。ぜひこの山の日制定を機に、長井市の葉山や祝瓶に多くの登山客においでいただくためのPRを積極的に推し進めていただきたいと思います。

ところで、このたびのやまがた百名山の第一次選定リストに白鷹山も選定されております。白鷹山は、白鷹町、山形市、上山市、南陽市、山辺町が所在市町村となっております。聞くところによりますと、この所在市町村で白鷹山サミットが行われてきており、白鷹山頂環境整備事業推進協議会を5市町で組織し、それぞれの市町が負担し合って山頂にバイオトイレを設置したということでもあります。残念ながら登山の体力が続かず、仄聞によりますが、葉山にあるトイレは傷みが激しく、清掃やくみ上げて流すという作業などを含めて、岳人長井の皆さんが活動を行っておられるということですが、先にも申し上げましたとおり、トイレは私たちの生活の中で重要なウエートを占めておりますし、年間約3,000人の方が葉山に登られ、女性登山客も多いと思います。男性はしかうち、女性は花

摘みなどの隠語があるとお聞きしました。しっかりとしたトイレがないからこういった言葉があるのかなというふうに思ったりします。

山の日が制定され、今後さらに多くなることで予想されるわけですが、そうした中で整備が必要な時期に来ているということであり、葉山への登山道が長井、白鷹両市町からあるということであれば、白鷹山の例のように両市町の協議の場が設定できるのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。バイオトイレの整備に向けた考え方について、市長にお伺いいたします。

以上お伺いし、壇上からの質問を終わります。ご清聴まことにありがとうございました。（拍手）

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 平議員から大きく3項目ご提言いただきましたけれども、私から2項目、5点についてお答えをさせていただきたいというふうに思います。

まず最初に、時間もありませんので、できるだけ簡潔にいたしたいというふうに思いますが、公共施設トイレの洋式化についてでございますが、生活様式の変化と高齢化社会を迎え、和式から洋式への転換をとということでございますが、議員のほうからも行政相談委員のお話でしたが、たしか平成26年度の西置賜の行政相談委員の皆さんの総会に私もお招きいただきまして、当時の山形の所長さんのほうから、そのデータですね、議員からあった25年度に調べたデータがございまして、国のほうはほとんど洋式化を進めていると。ただし県、市町村は非常にまだまだ低いというような話でございまして、いわゆるユニバーサルデザイン、結局若い人、子供、お年寄りに限らず、あるいは男女限らず全ての人たちが使えるようなデザインということは今後、極めてこれは重要な考え方だというふうに思ったところでございます。

それで、時間もありませんので簡単に申し上げますが、施設の整備に当たりましては、先ほど私が申し上げましたように、近年ユニバーサルデザインの考え方が広く浸透しておりまして、従来のように高齢者、障害者など特定の人の専用という考え方ではなく、老若男女といった差異、障害、能力のいかんにかかわらず、全ての人が使いやすいように初めから意図してデザインするという考え方が一般的になってきておりますので、私どももこれに徹底していきたいというふうに思っています。

トイレにつきましては設計のポイントとして、一般トイレにおいては腰かけ式を基本とするとされておりまして。新たに建築する施設についてはユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、洋式トイレの設置を行うというふうに考えてます。

なお、各小学校の大規模改修、耐震化等進めていく中で、洋式のトイレと、それからできるだけ衛生的ということで、ウォシュレットをつけるようにというようなことで進めてまいりましたが、やはり現場の先生方のほうからは、まだまだ和式トイレがあると。それで和式トイレも用意しておかないと、洋式トイレがないところへ行ったら子供たちが使えないというような話もございまして、全てではなく和式トイレも残しているということでございます。

既存の施設のうち大規模改修等を予定している施設については、工事を行う時点で対応していきたいと思っております。そのほかの施設については、高齢者や障害者など多数利用する施設を中心に、利用形態や市民ニーズを踏まえながら、極力洋式トイレ化、100%にするか、あるいは若干残すか、そういったところは現場の皆様の声をお聞きしながら判断してまいりたいというふうに思います。

この項の2点目でございますが、文化会館のことのご指摘をいただきました。

特に2階、3階については、やはり文化会館

もエレベーターをというような声がここ四、五年前からございました。それで、文化会館についてのみならず、やはり私ども市内の公共施設をどう整備するかということ全体を想定を上げないと、文化会館だけというわけにはいかなくて、ちょっとこの間時間がかかってしまったと。あと、財源の部分で、やはり特に庁内で財源をどうするんだということのいろんな議論が交わされまして、おかげさまでこの間の全協で全体像を示させていただいたんですが、残念ながら文化会館については改築、新築をなかなか私どもの考え方では難しいということで、現在の文化会館を耐震化と大規模改修をして行っていきたいというふうに思っています。それを平成29年度に耐震診断と実施設計を同時に行うと。そして、できますれば再来年の平成30年から工事に取っかかりたいと。状況によっては1年から2年かかると。したがって、その工事にかかっている際は、恐らく閉館せざるを得ないだろうということがございます。

したがって、29年度でとりあえず30年からは工事の期間中は閉館という手続をせざるを得ないと思っています。それでもやはり外づけのエレベーターをつけたり、あと昭和49年の建物で、設計自体は昭和46年ぐらいの設計なんです、きつと。ですから、相当段差だらけでトイレももう地下になってますしね、相当お金がかかると思います。15億円から20億円かかるだろうと以前から言われておりますので、そんなことで考えております。

したがって、議員からご提言いただいた件については、私はそんなにお金もかからないので、できるだけ文化会館の指定管理者とお話ししながら、あと利用団体である文化協会などともご相談申し上げて、必要、ぜひということであればすべきではないのかなと思っています。やはり難しいのは家庭用なものですから、家庭ですと、いわゆる清潔に保てるんですが、なか

なか不特定多数の方が使う施設での簡易洋式化のトイレっていうのはちょっと衛生面でかなり気をつけなきゃいけないというふうに思っているところがございます。

続きまして、3点目、これは質問の3項目目の山岳山荘のバイオトイレの設置についてでございます。

議員からは、新たな祝日である山の日をどう捉えているかということでございます。これは議員からもありましたように、私どもは山国でございますので、山の日が設定されたっていうのは非常にうれしいことだと思っています。ただ、8月11日というのはちょっと真夏なものですから、なかなか難しいところもあるのかなと、どういうふうに活用しようかなというふうに思っているところがございます。8月11日ぐらいでしたら、川の日ぐらいだったらいいんですけども、山の日はできれば春とか秋だとありがたいなと。8月の夏休み期間中は、特に葉山とか長井ダムの百秋湖周辺に行きますと、コシジロウだらけで、ちょっと大変なのかなという感じがします。

それは前置きでございますが、ことしは議員からもございましたように、山形県の山岳連盟、県民登山大会の山の日制定記念登山大会が9月の18日に置賜、葉山で開催されることになると。翌週の25日には葉山がやまがた百名山選定記念登山も開催が予定されておりますので、多くの山岳愛好者の皆さんが集い、交流を深められるものというふうに思っております。また、お盆と絡めて連休もとりやすくなるというふうに考えられまして、長井に帰省し、西山などの自然に親しみ、山菜を味わうなど、山の日を満喫していただく仕掛けづくりも、ぜひ来年オープン観光交流センター「川のみなと 長井」などの活用とともに考えてまいりたいと思っております。

4点目ですが、山岳資源を生かした観光振興

についてお答えしたいというふうに思います。

議員からはインバウンド対策も十分にやっぺいかなきゃいけないんじゃないかということでございますが、置賜さくら回廊インバウンド受け入れ環境整備事業の補正予算を計上させていただいているところでございますが、この事業は置賜さくら回廊推進会議に委託して、多言語案内看板作成などを行い、訪れた方が安心して観賞いただけるものでございます。英語、中国語、韓国語を基本に、プラスドイツ語とかフランス語とかイタリア語ということになるかというふうに思います。そのうち5カ国語ぐらいだと思っておりますが、まずはやまがた長井観光局と受け入れ体制をつくり、長井にお越しただく、そしてまちなかの外国人観光客の対策、対応策として仕組みづくりを市全体で整備を進めていかなきゃいけないというふうに思っています。

ただ、私どものこの山っていうのは知る人ぞ知るということで、外国人の観光客にはなじみがないと。いわゆる富士山とか、あるいは東京近郊ですと高尾山とか、そういうところは非常に有名なもんですから、しかも深い山じゃない、富士山は高い山なんですけども、観光としても整備されてます。私どものところは本当にきちんとした準備をしていかないといけない山もございまして、これはそう簡単に外国の方が気軽に行けるところじゃないんで、したがって、どういうふうに来ていただくかという、お越しいただくかというPRについて力を入れななきゃいけないと。

今、考えられるのは、例えばですが、6名のALTの方がいらっしゃいます。あと市民記者ということで、市民の皆さんがSNSを通じて発信していただいています。ですから、特にALTの方は写真を撮って英語でやっぱりツイッターとかフェイスブック等で発信していただくというのが、これが世界でそれが例えば山形の長

井にこういう山があるんだと、ぜひきれいなところで行ってみたいと話題になるぐらいのそういった取り組みが必要なのかなと。一つの例でございますが、今後そういったところを市民記者の情報発信とあわせて力を入れていかなきゃいけないと思います。

最後になりますけれども、葉山山荘バイオトイレ設置の可能性についてでございます。これについては平成26年がたしか葉山神社の数十年に1回の改修の年だったというふうに思っていますが、それで葉山の山頂のトイレについては、葉山のその神社の改修でへりを飛ばすんですね。へりを飛ばすだけでももう七、八十万円かかるといいますから、それに合わせては私どももいろんなことを葉山神社の氏子の皆さんと一緒にやったらどうかということで、以前からトイレの評判を聞いておりましたんで、ちょっとひどいトイレだと、とても女性が使えるようなトイレじゃないというふうに伺っていました。それで、担当の商工観光課のほうとお話ししまして、バイオトイレはどうだと。やっぱり1,000万円以上かかる。なおかつバイオトイレっていうのは電気がないとだめなんです。もう菌が死んでしまいますので、結構管理で手間暇がかかるんだそうです。そんなことで、葉山の山頂は白鷹山と違いますんで、ちょっと難しいのかなというふうな現場の担当の声と、あと肝心の山荘を管理していただいている岳人長井とか、長井山岳会の皆さんは、いや、バイオトイレじゃなくて、今あるトイレをもう少し囲いとか、そういったものを整備することでいいんじゃないかというようなお話でしたんで、やっぱり現場の管理している皆様の声を尊重しななきゃいけないということで断念したところですが、なお、白鷹町さんでも協力いただけるということであれば、なお現場を管理いただいている山岳関係の皆さんと協議して、なおかつあそこはいわゆる国有林、国有地でございますので、環境庁、



環境省とも協議しなきゃいけないと思いますので、その辺などを踏まえながら、やはり女性の方も子供もお年寄りも使えるようなトイレを設置していかなきゃいけないというふうに思います。

長くなりましたけど、私からは以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 平田 裕教育長。

○**平田 裕教育長** 平議員からは、大きな2つ目の長井の心推進事業についてご質問がございましたので、お答えさせていただきます。

私からは、長井の心推進事業をどう位置づけ、どう捉えているのかというご質問だろうというふうに思います。議員からもありましたとおり、長井の心推進事業は、長井市教育振興計画にも示されておりますとおり、郷土を愛し、豊かな心を育む重要な教育活動の一つであるというふうに捉えてございます。とりわけ学校教育におきましては、議員ご指摘のとおり、地域の人々と触れ合いながら、地域の伝統芸能等を継承したり、花の植栽活動や畑体験、あるいは米づくり活動、ボランティア活動等、さまざまな体験活動を通して地域に対する理解と愛着を深める活動としてしっかりと定着をしているところでございます。

教育委員会としましては、この長井の心推進事業は、各小・中学校ごとの特色ある教育活動として教育課程にもしっかりと位置づけられ、子供たちの豊かな心を育む上で欠かせない活動となっております。今後も郷土に対する理解を深める重要な教育活動として継続していくことが望ましいというふうに考えてございます。

○**渋谷佐輔議長** 齋藤環樹総務参事。

○**齋藤環樹総務参事** 私のほうからは、お尋ねの1番目、公共施設トイレの洋式化についての中のアストメートトイレの今後の整備方針、障害者用トイレの必要性和対策のところについてお答え申し上げたいと思います。

まず、ご質問で触れられました庁舎1階のアストメート対応設備、男女各1台ございますけれども、平成22年に国の地域福祉対策促進事業補助金を活用しまして、市民文化会館障害者用トイレ1台分と合わせ、計3台分を整備したものでございました。事業費は126万円でございます。高齢者や障害者等の自立と積極的な社会参加を促すため、公共性のある建物を円滑、安全に利用できるような整備を目的に、平成18年12月に施行されたバリアフリー新法におけるトイレ整備の考え方でございますけれども、不特定かつ多数の者が利用し、または主として高齢者、障害者等が利用するトイレを設ける場合には、一つには車椅子使用者が円滑に利用することができるものを1つ以上設けること、2つ目は、高齢者、障害者等が円滑に利用できることのできる構造の水洗器具、これがアストメート対応設備のことを言うわけですが、を設けたものを1つ以上設けることというような建築物移動等円滑化基準に適合させなければならないとされております。観光所や集会所、公会堂などで、法で特別、特定建築物に規定されているものにつきましては、一定面積以上のものを建築する場合は適合義務が発生いたします。集会所、公会堂などにつきましては2,000平米以上のもの、観光所については山形県の条例で1,000平米以上のものを建築する場合、適合義務が生じるということになります。

なお、この規定につきましては、建築基準法第6条第1項に規定する建築基準、関係規定とみなされることから、法施行以前に建築された施設については違法というわけではございませんが、改修等を行う場合に適合するようにしなければならないとされております。その他の施設で、例えば事務所などのほうで特定建築物とされるものにつきましては努力義務とされているところでございます。いずれにいたしましても、市所有の施設につきましては個々の施設の

整備を行う段階で、こういった法の趣旨を踏まえ、施設の規模や利用形態も勘案しながら適切に対応してまいりたいと考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 川村直人文化生涯学習課長。

○**川村直人文化生涯学習課長** ご質問がありました私ども文化生涯学習課のほうで所管しております社会教育施設の洋式化についてお答えをさせていただきます。

私どもの課が所管しております社会教育施設でございますが、6地区公民館のほかに市民文化会館、勤労青少年ホーム、図書館、文教の杜、そして古代の丘資料館ということで、合計で11施設がございます。それで、洋式トイレの普及率でございますが、合計で全体で大便器の数が110ございます。そのうち洋式トイレにつきましては身障者用も含めまして、現在35器ということで、率にしますと31.8%というような設置率になってございます。

議員からございました切りかえの計画的な改修についてでございますけれども、おっしゃいますように、高齢化であったり生活スタイルの変化などによって、そういう洋式化に対応するような時代になってきてますので、そういった部分につきましては、先ほど言いました31.8%という現状ではございますけれども、公共施設整備計画と調整を図りながら整備並びに改善を図っていかねばならないというふうに考えてございます。

○**渋谷佐輔議長** 横山賢一教育参事。

○**横山賢一教育参事** 2の長井の心推進事業の(2)西根小学校の縄文太鼓継承活動についての施設の検討内容についてお答え申し上げます。

平成28年9月5日付で縄文太鼓の愛護会会長など3名の方の連名で、縄文太鼓のほうの保管場所及び練習場所の確保というようなことで要望をいただいているところでございます。縄文太鼓のほうの移設場所といたしまして現在検討

している具体的な場所につきましては、西根小学校の図工室を想定してございます。数回にわたり、西根小学校を訪問して各部屋を見せていただきました結果、やはり現状では図工室が移設場所として適所であるというふうに考えてございます。ただし図工室は準備室と分かれておりまして、スペースの関係で図工室と準備室にあります仕切り壁を撤去する必要がございます。また、黒板や備えつけの棚の移設など、移動を必要とするものや休日等に外から入室するためのドアの改造や、図書室内部での上窓の防音対策など、新たに施工を必要とする箇所も数カ所出ているようです。

こうした内容等につきまして西根小学校さんと協議をしております、安全で安心して使用できるように改修を進めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 鈴木博郎学校教育課長。

○**鈴木博郎学校教育課長** 私からは、西根小学校縄文太鼓継承活動について、教育的視点からお答えいたします。

西根小学校の縄文太鼓は、平議員がおっしゃられたように、子供たちは総合的な学習の時間で取り組んだり、学習発表会において演奏したり、縄文まつりにおいて地元西根の方はもちろん、市内各所や遠方よりお越しの観光客の皆様にもご披露したりしております。

西根小学校では、この縄文太鼓活動を特色ある教育活動として今後も継続して取り組んでいく計画でございます。縄文太鼓活動により音感やリズム感などの音楽的スキルを高めるばかりではなく、心を一つに演奏する協調性や、すばらしい演奏にしようとして一生懸命練習する気持ちを育てることにもつながります。これは私どもの目指している長井の心、10の子供像、長井の人や自然、文化に親しむ子供、力を合わせる子供、粘り強く取り組む子供などに結びつくものです。さらには古代の人々や暮らしに思いをはせ、無

心に縄文太鼓等の楽器に向かうことが子供たちの豊かな感性を育むことにつながると思います。そして、先輩から受け継がれてきた縄文太鼓活動、その教育効果は大きいと認識しております。

今後の縄文太鼓活動の継続を考えたとき、先ほど教育参事が答弁したとおり、より安全で快適な環境での学習の場を保障するため検討が必要であると考えております。

○**渋谷佐輔議長** 手塚慶一商工観光課長。

○**手塚慶一商工観光課長** 私のほうからは、やまがた百名山への取り組みということでお答えいたします。

長井市民は、葉山や祝瓶山の春、秋の市民登山や、市内小学校の学年行事としての登山など、昔から登山が盛んで、山への親しみがとても深いというふうに思っております。このたびのやまがた百名山の取り組みにつきましては、山の日が祝日になるのを契機に、地域で愛される山にさらに愛着を持ってもらうことや、ぜひ登ってほしい魅力的な身近にある山を推薦し、選定してもらうことで、市民登山愛好者や当市を訪れる山岳観光者の増加につなげる好機として捉えまして、今回は葉山を初めとして4つの名山を推薦したところでございます。残り50の選定につきましても、地域の宝である山々につきまして、市内の山岳団体と協議をしながら選定されるよう引き続き推薦していく考えでございます。

○**渋谷佐輔議長** 5番、平 進介議員。

○**5番 平 進介議員** それぞれにご丁寧に答弁をいただきまして、ありがとうございました。

再質問であります。まず2番目の長井の心推進事業についてお聞きをしたいというふうに思います。今の場所から、今の西根小学校の図工室を中心に移動を検討していただいているということで、大変ありがたいというふうに思います。それで、教育委員会のほうでも検討していただいているようではありますが、やっぱり図

工準備室と図工室のところ、結構大きさ違うわけで、防音の関係等も、それから防犯の関係等もあるというふうに思うんですが、その辺のところをしっかりと取り組んでいただいて、できるだけ早期にお願いをしたいというふうに思うわけでありましたが、その辺の流れなどについて、現時点でどのように考えておられるのか、教育参事にお聞きをいたします。

○**渋谷佐輔議長** 横山賢一教育参事。

○**横山賢一教育参事** お答えいたします。

8月26日に私どものほうの職員で学校のほう、再度検証してまいりました。それを受けて西根小学校さんのほうともお話をしながら、現在、業者さんのほうに見積もりをお願いしている状況でございます。ただ、まだ見積もり等は出ておりませんので、提出いただいた後にその内容並びに見積金額等を精査しながら、実施時期も含めて今後検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 5番、平 進介議員。

○**5番 平 進介議員** ありがとうございます。

よろしくお聞きをしたいというふうに思います。地元のほうも学校といろいろ相談させていただきながら進めさせていただきたいというふうに思います。

それから、トイレの洋式化、市民文化会館の2階、3階の部分であります。この部分については文化協会なり指定管理団体と相談していただいて、できるだけ利用者の理にかなった対応をしていただきたいなというふうに思ったところでございます。

あと、3番目のバイオトイレであります。この部分については先ほど午前中の内容議員の質問で市長から、最近トレッキング、山登りがはやっているし、山ガールもいる。それで歴女などもいらっしゃるというふうに思うんです。それで、この間、白鷹山に、あそこにやっと登ってバイオトイレを見てまいりました。あそこ

の虚空蔵菩薩については上杉鷹山が建設されたということだそうでございます。それで、中里からおけさ堀を登って、そして庄内に向かう葉山を通っていく65キロぐらいの葉山、朝日軍道については、直江兼続がつくったというふうなことでありますので、そうした歴史的文化遺産というふうなところも含めて、これからの山岳観光に生かせないのかなというふうに思ったところでもあります。

その今の葉山山荘のトイレについては、岳人長井の山岳会の皆さんが一生懸命頑張っていたので、今のトイレをつくり上げられたということで、その思いもあるというふうに思いますが、やはり離れているというところで、夜は暗い、手洗いもないというふうなところなどもありますので、その辺もぜひその当事者の方々と相談いただいて、できれば先ほど私が申し上げましたとおり、長井市と白鷹町、それぞれの登り口があるわけで、白鷹山の例のように、お互いに負担し合って建設したというふうな、七百数十万円ぐらいだそうではありますが、そうしたところも含めて進めていただきたいというふうに思います。

以上で終わります。ありがとうございました。

○**渋谷佐輔議長** ここで、暫時休憩いたします。

再開は3時20分といたします。

午後 3時01分 休憩

午後 3時20分 再開

○**渋谷佐輔議長** 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

### 鈴木富美子議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 15番、議席番号6番、鈴木富美子議員。

(6番鈴木富美子議員登壇)

○**6番 鈴木富美子議員** 本日、最後の質問になります。よろしくお願いいたします。

4年に1度のオリンピックが行われ、日本人の活躍に興奮と感動をいただいた暑い夏が過ぎようとしております。17日間にわたり、28競技306種目とさまざまなスポーツを見ることができました。4年後は、東京で行われます。当長井市からもぜひオリンピック選手が育つことを願っています。

それでは、通告書に従いまして質問をさせていただきます。

第1項目、ホストタウン誘致事業についてお伺いいたします。午前中の内谷議員と重複する点があると思いますが、よろしくお願いいたします。

7月21日の全員協議会において、2020年東京オリンピックに向けてホストタウン誘致事業の説明を受けました。このたびのリオデジャネイロオリンピックでのタンザニアの選手は、陸上競技では、男子マラソン3名、女子マラソン1名、柔道で、男子73キログラム級1名、競泳、男子50メートル自由形1名、女子50メートル自由形1名に出場されておりました。全員協議会の中で、長井市がタンザニアを選んだ理由に、タンザニア出身の長井市在住の方がいらっしゃるからとお聞きいたしました。本来ならば友好都市であるバートゼッキンゲン市のあるドイツも候補と思いますが、ドイツを選ばなかったのはなぜでしょうか。事業を受けた場合の旅費、宿泊費等の経費はどのようになるのでしょうか。総合政策課長にお伺いいたします。

この事業によって今後の国際交流事業、またはインバウンドに生かしていけるのでしょうか。